

記念撮影する関山社長(左)と渡邊社長



日建リース工業を販売パートナーに

ドローン測量普及へスカイマティクス

日建リース工業(東京都千代田区、関山正勝社長)とクラウド型ドローン測量

サービスを展開するスカイマティクス(東京都中央区、渡邊善太郎社長)は4日、販売パートナー契約を結んだ。建設DXが進む中で、ゼネコンなどの建設業への

サービス普及に力を入れる。来年から販売を開始し、5年後には20億円規模の売り上げを確保したい考えだ。

販売契約を結んだのは、スカイマティクスの測量サービス「KUMIKI(くみき)」。独自の3D形状復元(SfM)技術と地理情報システム(GIS)技術を活用し、ドローン画像から3D点群データやオルソ画像などの地形データを自動的に生成する。クラウド上で体積や面積、高さなどを計測でき、建設現場などの測量作業の効率を高める。

スカイマティクスは、建

設DXが進む建設業でのサービス展開を強化したい考え。ゼネコンなどに幅広い営業網を持つ日建リース工業と販売契約を結ぶことで、より多くの顧客の獲得につなげる狙いだ。

4日に都内で締結式を開いた。渡邊社長は建設業での展開を強化することで「多くのニーズをいいただき、建設業に特化した製品開発もしていきたい」と話した。関山社長は「建設DXに大きく貢献できる製品。データはBIM/CIMとも結びつき、非常に成長性があると考えている」と述べた。

